

人が集まれば、 まちが元気になる

まちぐるみでの取り組み
3月下旬まで四万十川流域で開催されている「四万十街道ひなまつり」。大正地域では、商工会や地域おこし協力隊、そして四万十高校生など、まちぐるみで雛人形の飾り付けが行われました。大正駅で飾り付けを行った四万十高校の生徒は、完成形の写真を見ながら、左右のバランスなども細目にチェックし、飾り付けを行っていました。

また、きらら大正では商工会のみなさんを中心に飾り付けが行われました。今年初の試みとして、商工会窪川支部・大正支部・十和支部合同で実施。大きな雛壇への飾り付けに苦戦しながらも、集まった皆さんからは終始笑顔が見られました。楽しい、地域を盛り上げたい、そんな地域の方々の想いが、温かい地域と笑顔をつくっています。



1



4



2



3

1 2 きらら大正での飾り付け 3 4 飾り付けを行う四万十高校生

小さなまちの、大きなキモチ。

大正駅の前にあるベンチの壁に書かれた「大正を何とかしよう」という言葉。みんなを喜ばせたい、楽しんで色々やっていきたい。そんなキモチが、温かいまちをつくっています。



大正地域で活動する地域おこし協力隊の皆さん（左から、窪田 純一さん、西村 咲希さん、水野 杏美さん）

四万十街道 ひなまつり

四万十町内の
展示スポット

大正地域

3月3日～3月31日(水)

- ◆ 旧門脇家住宅（郷土資料館）
- ◆ 大正駅 ◆ きらら大正



きらら大正のロビーには5つの雛壇が並べて飾られています。

窪川地域

2月6日～3月21日(日)

- ◆ 旧都築邸（郷土資料館）



築100年を超える古民家「旧都築邸」に展示されています。

十和地域

2月6日～3月21日(日)

- ◆ 道の駅四万十とおわ



展示されているのはなんと明治時代の雛人形。ぜひ一度、ご覧になってみてください。

大

正駅前にある「大正駅前に
ぎわい拠点」では、観光案内をはじめ、レンタサイクルやコーヒーマーケットサービス（有料）もあります。大正地域の地域おこし協力隊の活動拠点でもあり、昨年秋には、元協力隊で現在はゲストハウスを営む小野さんの協力もあり、大正駅前ではハロウィンイベントも開催。子どもたちの姿も多く見られ、名前のとおり大正地域のにぎわいをつくり出す拠点となっています。小さなまちだからこそ、地元の子どもたちや地域の大人が一緒に、活動する人もそこに集まる人々も、お互いが楽しく笑顔になれる。そんな温かな居場所が、ここにはあります。

